



論文抄読会の活用 ～抄読会をどう薬剤師の力に変えているか～

千里中央病院

当院では医師と薬剤科で2週間に1回論文抄読会を行っています
論文を読む→PECO※に沿ってまとめる→みんなでディスカッション

※P: Patient (対象患者)
I/E: Intervention/Exposure (曝露/投与)
C: Comparison (比較対象)
O: Outcome (アウトカム)

DIニュースで情報発信

- ✓ 抄読した論文をDIニュースで紹介
- ✓ エビデンスに基づく情報を院内へ発信
- ✓ 発行件数の増加につながる

2026年4月
第 67 号
千里中央病院薬劑科

DIニュース



静脈血栓症治療における、
DOAC を直接比較した論文が出ました！！



＜静脈血栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓症）の治療及び予防＞
適量、成人にはアピキサランとして150mgを1日2回、7日間経口投与した後、150mgを1日2回経口投与する。

（静脈血栓症の治療及び再発予防）
適量、成人にはアピキサランとして150mgを1日2回経口投与した後、150mgを1日2回経口投与する。

2026年4月
の院内共有分
一部抜粋

論文抄読会の様子



薬事審議での検討に活用

- ✓ 医薬品の採用・継続・中止の検討資料
- ✓ 適応外使用や新規治療のエビデンス確認
- ✓ 安全性情報・適正使用の検討

例) 採用可否、使用制限、院内ルール改訂など

臨床での実務に活用

- ✓ 薬物療法の提案・処方設計の支援
- ✓ 日常のDI業務で根拠ある回答
- ✓ 副作用対策・用量調整の判断材料
- ✓ 患者さんにとってより良い薬物療法へ

若手の育成・目標設定

- ✓ 「DIニュースを書く」を若手薬剤師の目標に
- ✓ 論文を読む・評価する・まとめる・伝える力を育成
- ✓ 先輩のサポートのもと主体的な情報発信へ

“読む”だけで終わらない

論文から得たエビデンスを

情報発信・検討・臨床・人材育成へ

論文抄読会を起点に、情報発信・組織活動・臨床・人材育成へとつなげることで、薬剤師の価値を高めています